

安心のまちづくりのために

第36回



高齢者の暮らしを考える

松阪市では高齢者の見守り支援に取り組む地元企業と「高齢者にやさしいまちづくりに関する協定」を締結し、様々な方面からの支援で高齢者が安心して生活できる見守りの輪を広げていきます。

昨年の11月8日には9社目として三重ダイハツ販売株式会社と協定を締結しました。今回、締結に至った想いや地元企業としての取り組みについてお話を聞きました。

インタビュー

「高齢者にやさしいまちづくりに関する協定
〜三重ダイハツ販売株式会社〜」



どんな取り組みを
していますか。

三重ダイハツは前身である「長嶋モーターズ」の創立から数えて長きにわたり、地元の方々に大変お世話になってきました。創立80周年を迎えた4年前から、車を販売するだけではなく何か地域に貢献できることをしようと、CSR推進室を立ち上げ活動を開始しています。活動していくなかで、もっと地域の課題に取り組みたいという想いが起こり、課題の一つである高齢者に



三重ダイハツ販売株式会社 代表取締役専務 長嶋 典行さん

よる事故予防のための「健康安全運動講座」を開催することになりました。

JAFによる安全運転講習や理学療法士による運動指導などを行い事故低減に向けたサポートを行っています。これらの講座は、イベントの案内や参加者のとりまとめなど地域の住民協議会等のご協力のおかげで、県内で過去11回開催しており、地域に密着したイベントになり大変感謝しています。こういった取り組みがあったからこそ、「高齢者にやさしいまちづくりに関する協定」の締結に至ったのだと思います。

本協定の具体的取り組みの一つとして、今回全社員が参加する「認知症サポーター養成講座」を実施しました。

今後の目標を
教えてください。

初めての試みで実施した「認知症サポーター養成講座」ですが、だれもがなる可能性のある認知症について貴重な研修機会を設けられたと実感しています。今後入社する新しい社員に対しても受講を継続していきたいです。

また、「健康安全運動講座」の参加者の方々からは「年齢とともに衰えていた自分の能力、体力に気づくことができた」「日頃の運転を見直す良い経験ができた」と嬉しい声を、いつもいただいています。

我々の活動を通じて、高齢者がいつまでも健康で安全な運転ができ、高齢者による事故の低減に貢献できれば嬉しいです。今後も地域の自治体と協力しながら継続した支援を行っていきます。



CSR推進室
推進リーダー 山本 泰稔さん